

飯田市議会を『自己評価』する取り組みについて

議会報告・意見交換会配布資料

飯田市議会では、飯田市自治基本条例に規定された「議会の役割」の実現に向けて、改革を進めています。

平成24年(2012年)には、自治基本条例に基づき、議会改革の方針を策定し改革に取り組んできましたが、10年を経た今日、実現できていない項目や時代の変化に対応できていないことなどが明らかになりました。

これらを解決する手段として全議員で取り組みを始めたのが、過去を振り返り、次代を見据えて前に進むための、飯田市議会の『自己評価』です。(日本生産性本部が監修したプログラム「地方議会評価モデル」を導入)

この4月から、議会自ら“身体検査”を行い、今年度中には、目指す議会の姿を市民の皆さんにお示しいたします。

「チーム飯田市議会」として、住民福祉の向上のために貢献できるよう取り組んでまいります。

令和4年9月
飯田市議会

飯田市議会が『自己評価』（地方議会評価モデル）を通じて目指すこと

- ☆「住民福祉の向上」につなげていくため、将来の「理想的な姿」を明らかにします。
- ☆「取り組むべき課題」と6年の間（次次期改選まで）に解決するための「具体的な活動目標」を市民の皆さんにお示し、進行管理をしていきます。

